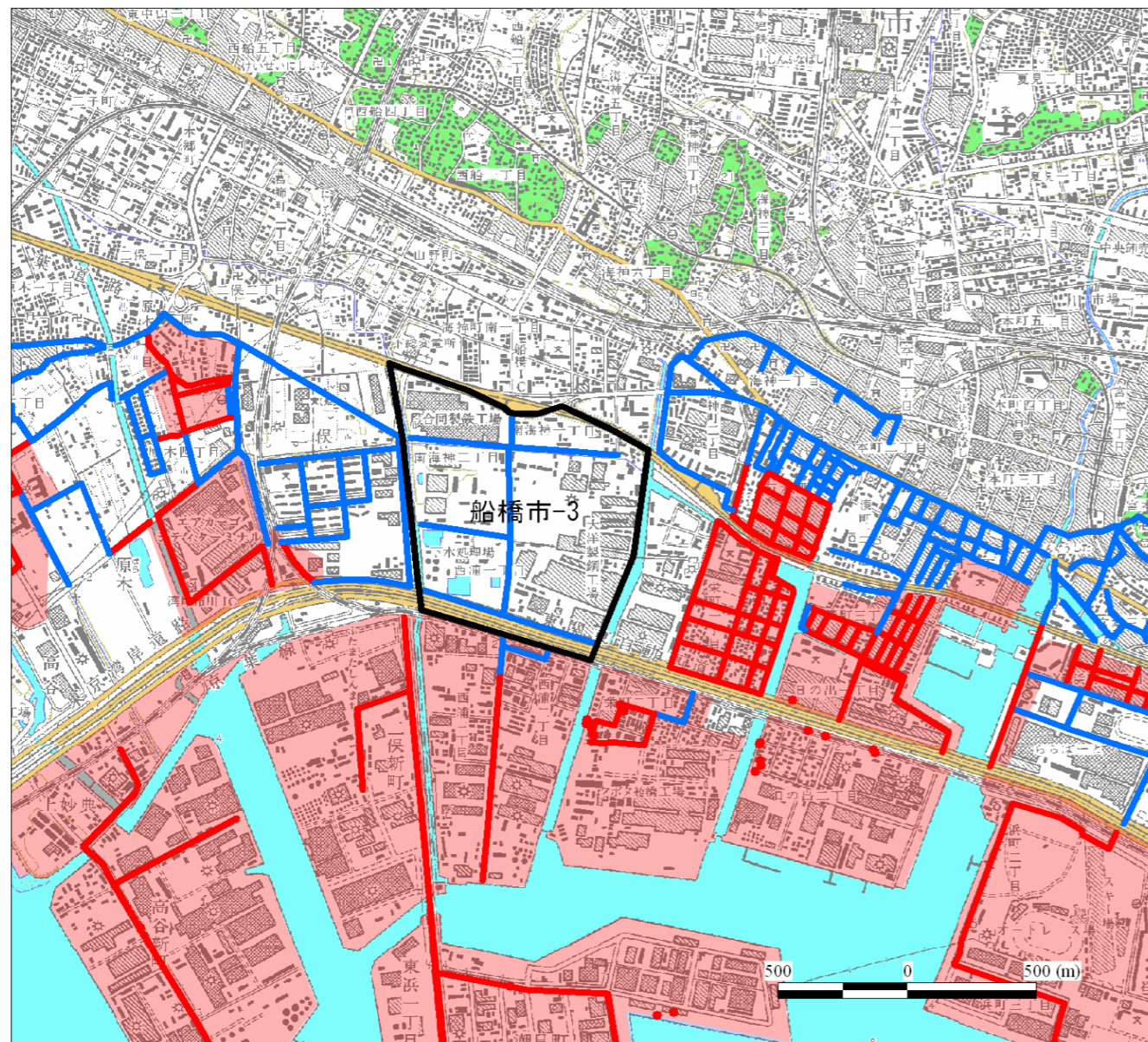
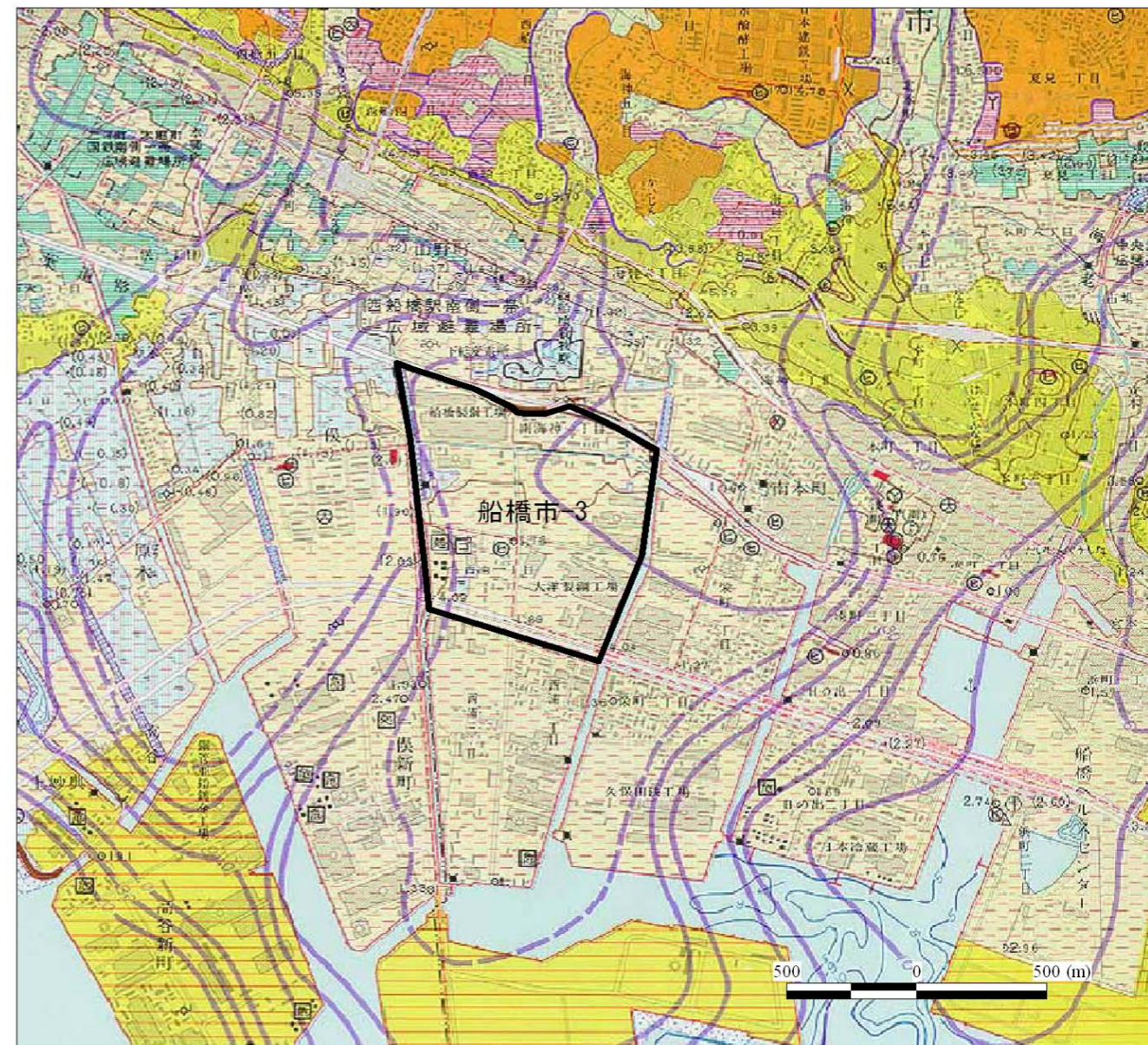


箇所名	船橋市-3	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	西浦1丁目, 南海神	1/6
発生面積	なし	地形分類	低い埋土地(干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	液状化の発生は確認されず							
噴砂の状況	なし	地盤の変形量(沈下、傾斜)	なし	被害の程度	なし			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

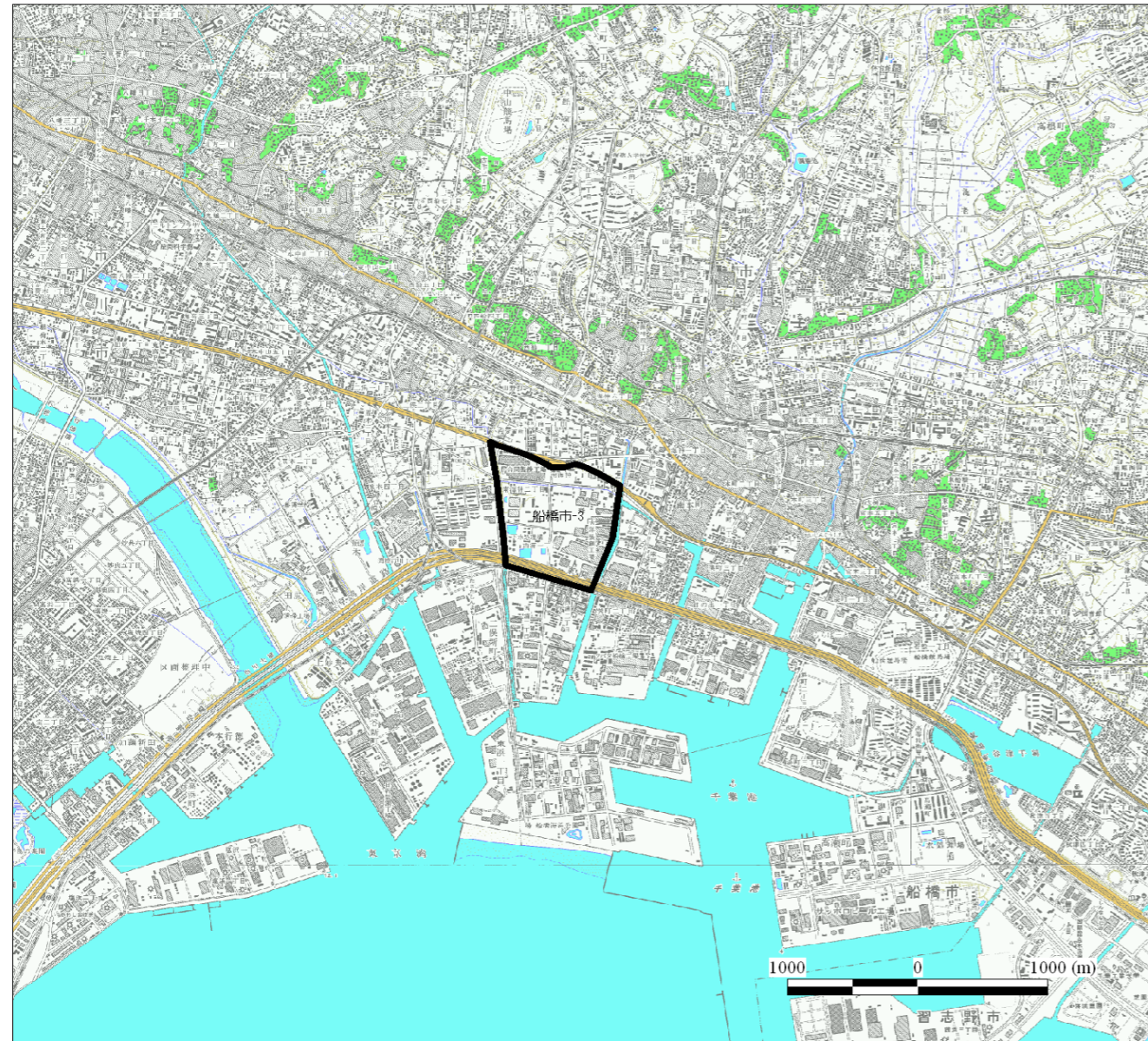


土地条件図



箇所名	船橋市-3	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	西浦1丁目, 南海神	2/6
発生面積	なし	地形分類	低い埋土地(干潟・遠浅の海底を埋立)		液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし		
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	液状化の発生は確認されず							
噴砂の状況	なし	地盤の変形量(沈下、傾斜)	なし		被害の程度	なし		
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

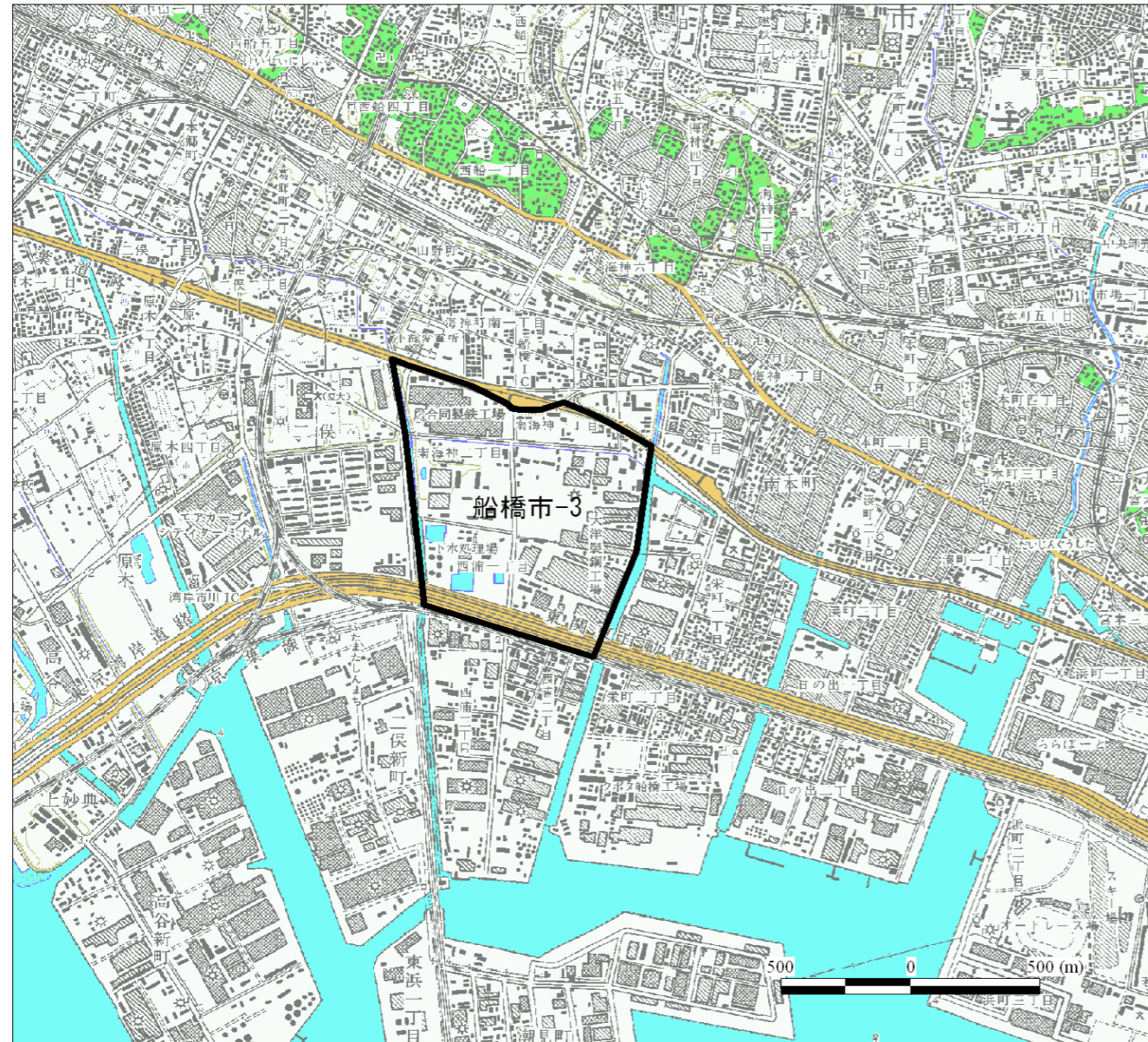


航空写真(2011年3月17日撮影)



箇所名	船橋市-3	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	西浦1丁目, 南海神	3/6
発生面積	なし	地形分類	低い埋土地(干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	液状化の発生は確認されず							
噴砂の状況	なし	地盤の変形量(沈下、傾斜)	なし	被害の程度	なし			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態説明委員会							

地形図(数値地図25000)

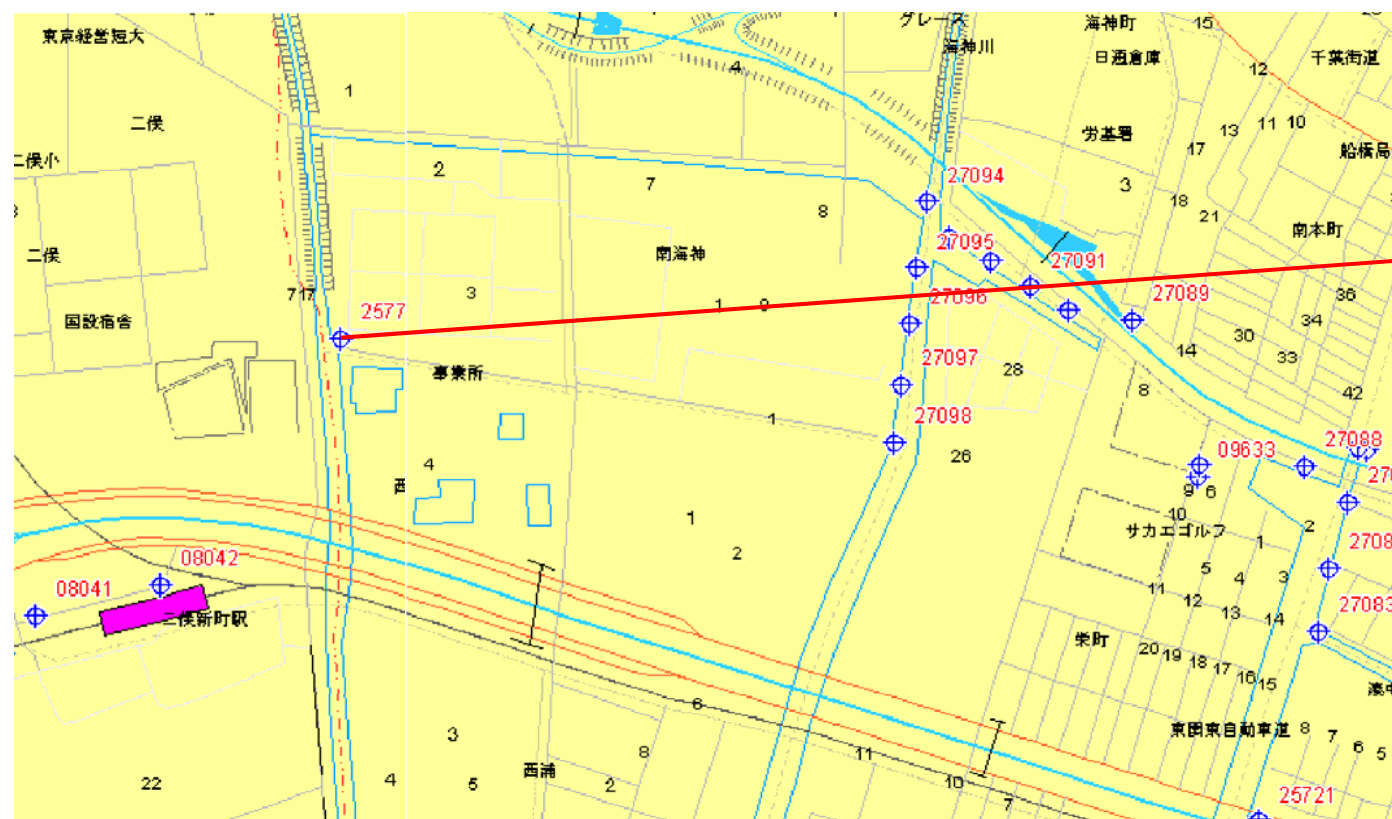


1/20000迅速図:明治13年測量



箇所名	船橋市-3	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	西浦1丁目, 南海神	4/6
地下水位	GL-1.25~1.7m	液状化対象層(層厚、深度)	B1 Bs,As GL-0~9.6m(9.6m)		B2 Bs,As,Asc GL-0~9.5m(9.5m)			
湿潤密度 ρ_t		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip		
平均N値	B1 1~33 B2 1~27	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL				

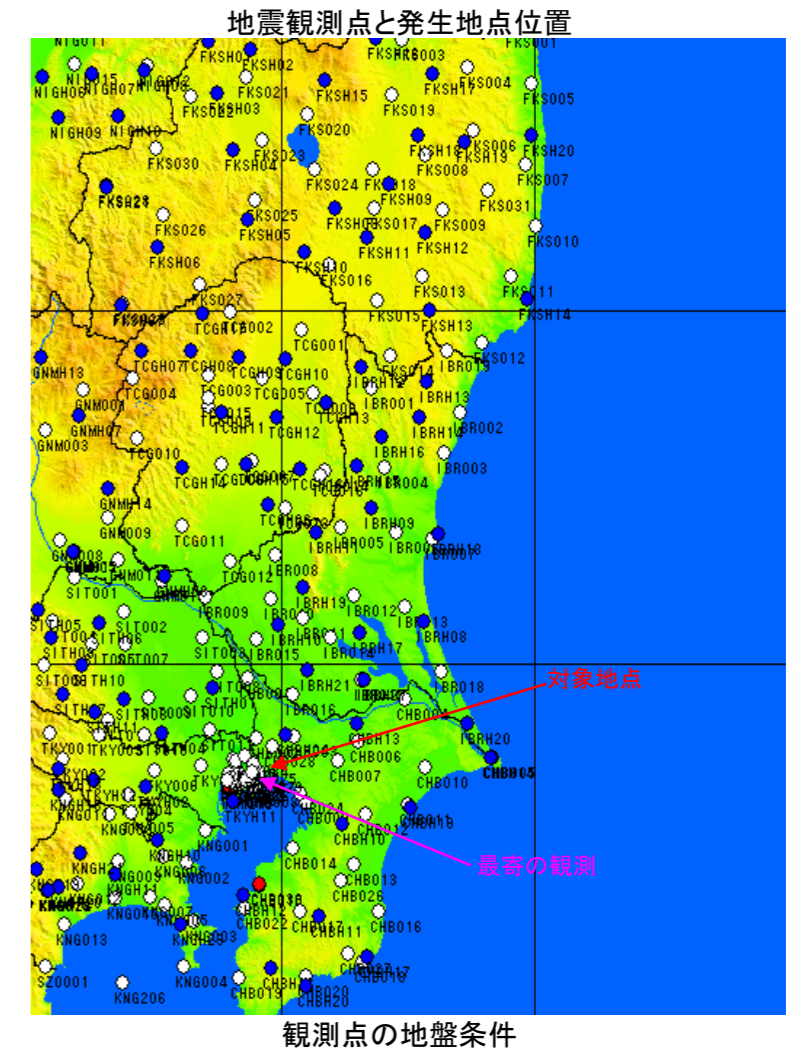
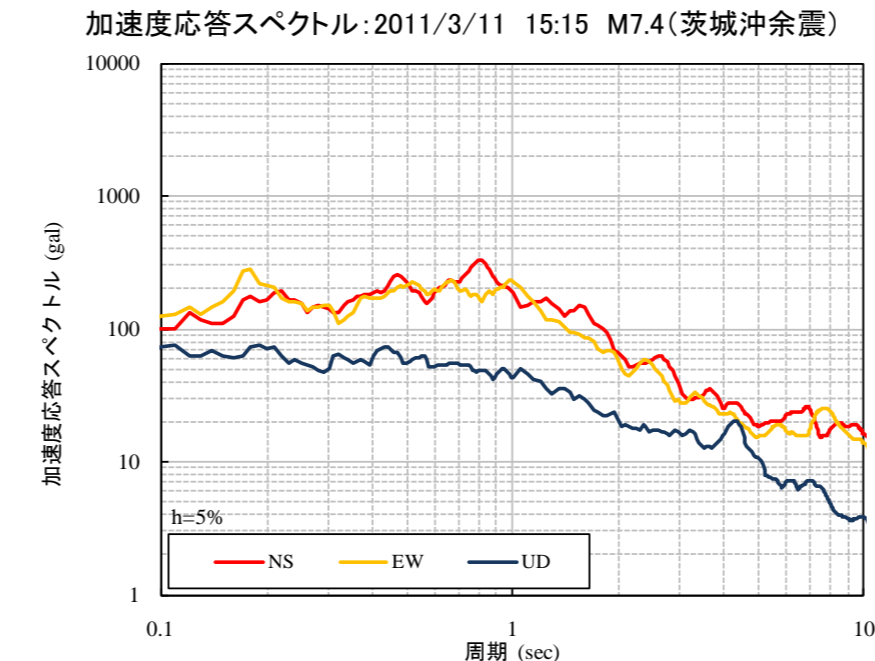
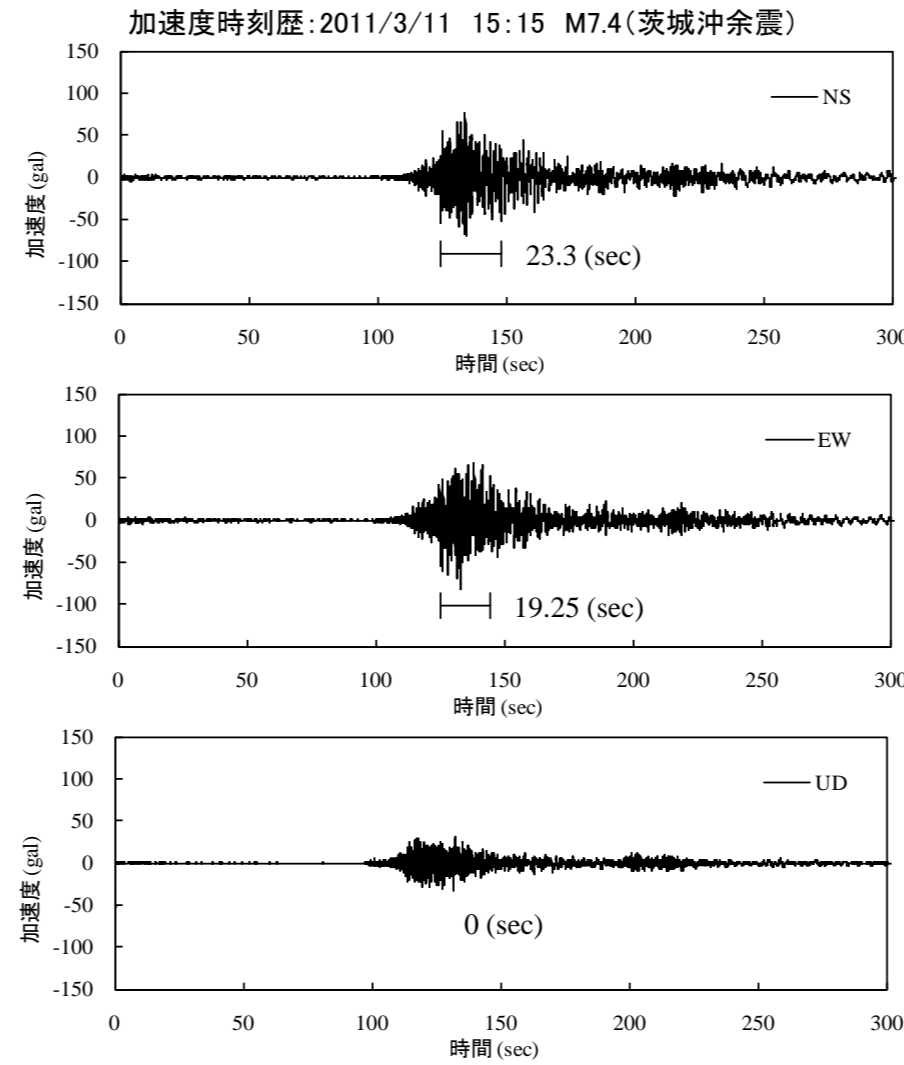
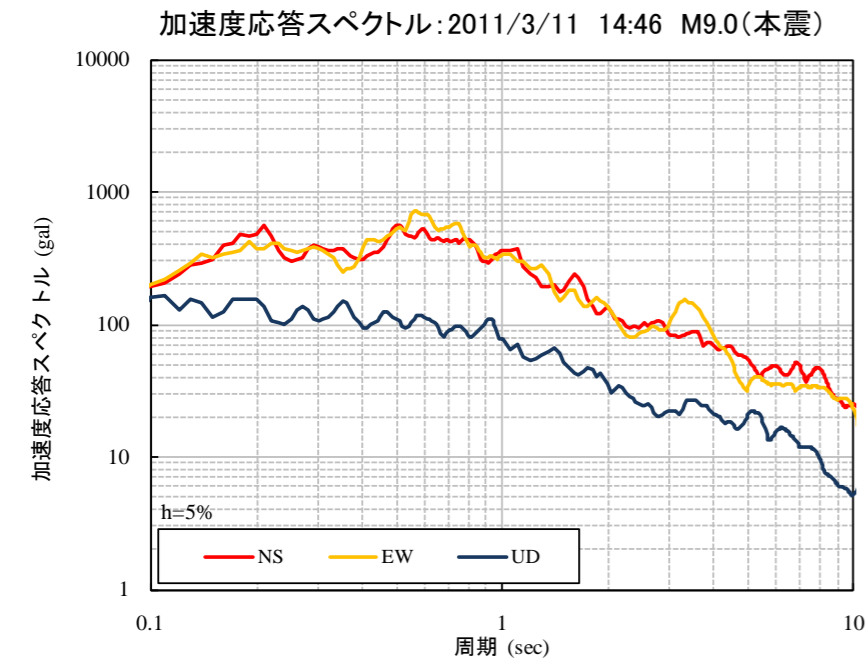
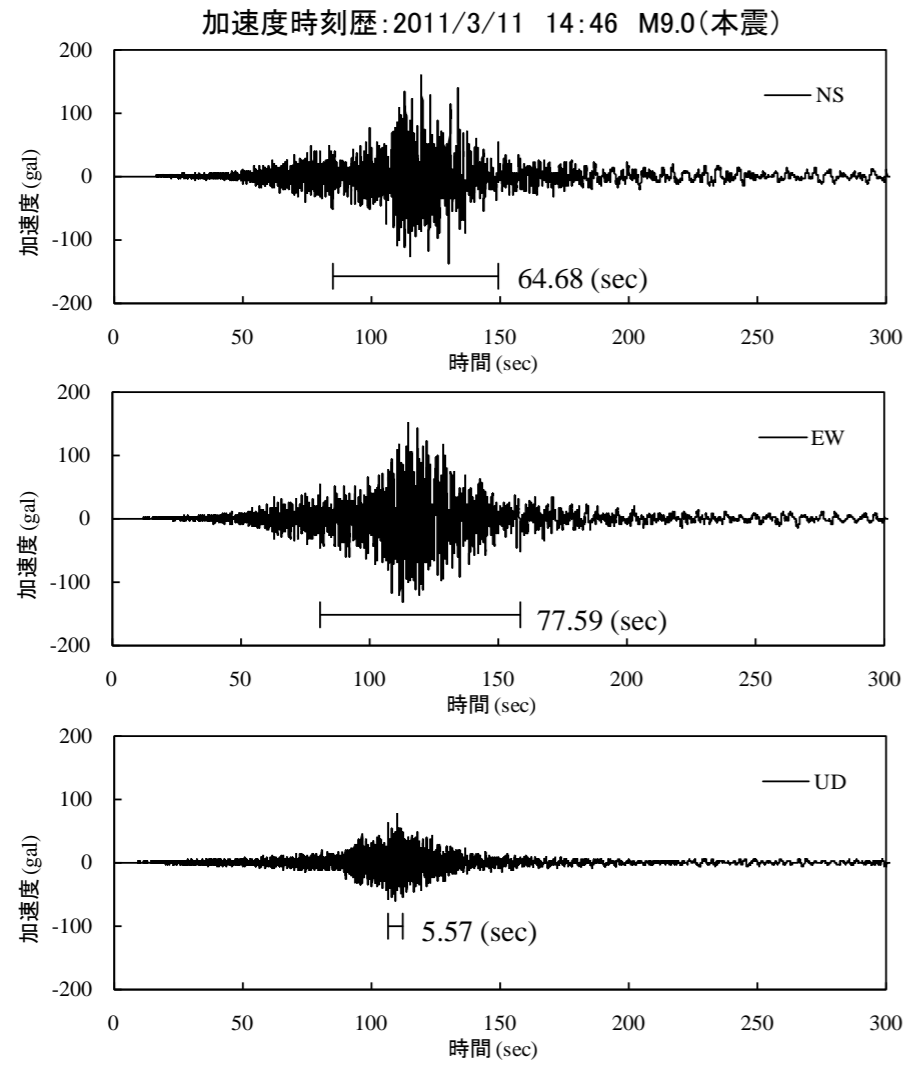
平面位置図



B1

標尺 m	深度 m	地質柱状 相	色調	観察 記事	標準貫入試験					標尺 m
					回/cm	N値				
					10	20	30	40	50	
1	1.75	シルト	黄	シルト主体。砂を多く混る。1.15mまで硬、コ ンクリート、木片を多く混る。	3/33					1
2	3.60	シルト	黄	シルト主体。砂を若干混る。φ10~30mmの硬 き存在する。所々土丹を混る。含水大。3.4~ 3.6%。黒褐色シルト。木片を混り、悪臭あ り。旧沈泥のヘドロ層と推定する。	1/32					2
3	4.35	シルト質粘土	黄	砂を若干混る。腐植物、貝殻を点在する。	2/32					3
4	5.75	シルト質粘土	黄	全体にシルト多い。腐植物を若干混る。	3/36					4
5	6.80	シルト	黄	均質である。	4/30					5
6	7.65	シルト	黄	貝殻、砂をパイ状に挟む。	12/30					6
7	10.85	シルト	黄	貝殻片を混る。腐植物を若干混る。軟かい。	2/36					7
8	11.70	シルト	黄	全体にシルトを多し。	1/35					8
9	12.60	シルト	黄	全体にシルトを含む。褐色のシルトをブロック 状に挟む。貝殻片を点在する。	1/35					9
10	14.75	シルト	黄	細砂をブロック状に挟む。浮石を若干混る。	1/25					10
11	17.30	シルト	黄	全体にシルトを多し。	2/30					11
12	18.05	シルト	黄	全体にシルトを含む。	1/32					12
13	19.90	シルト	黄	腐植物を若干混る。含水小。	3/32					13
14	20.80	シルト	黄	砂をブロック状に挟む。硬い。	2/37					14
15	21.65	シルト	黄	砂をブロック状に挟む。硬い。	7/32					15
16	23.10	シルト	黄	砂を若干混る。腐植物を点在する。含水小。 硬い。	4/33					16
17	23.65	シルト	黄	含水小。硬い。	3/30					17
18	26.00	シルト	黄	全体にシルトを含む。土丹線を混る。やや不 均一。	35/30					18
19	26.30	シルト	黄	腐植物を混る。硬い。 砂を多く混る。硬い。	18/31					19
20	27.10	シルト	黄	非常に硬い。29.0m、中砂を多く混る。31.5m より層厚増加。	14/31					20
21					6/30					21
22					6/32					22
23					8/32					23
24					31/30					24
25					35/30					25
26					9/30					26
27					50/28					27
28					50/26					28
29					50/20					29
30					50/14					30
31					50/24					31
32					31/30					32
33					38/30					33
34					50/22					34
35					50/25					35

箇所名	船橋市-3	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	西浦1丁目, 南海神	5/6			
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET行徳(CHB029)	対象地点との距離(km)	4.4	最大加速度(gal)	166.8	最大速度(kine)	28.4	継続時間(50gal以上)(s)	77.59
	87.7						14.5		23.30		
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5弱	出典	防災科学技術研究所HP				



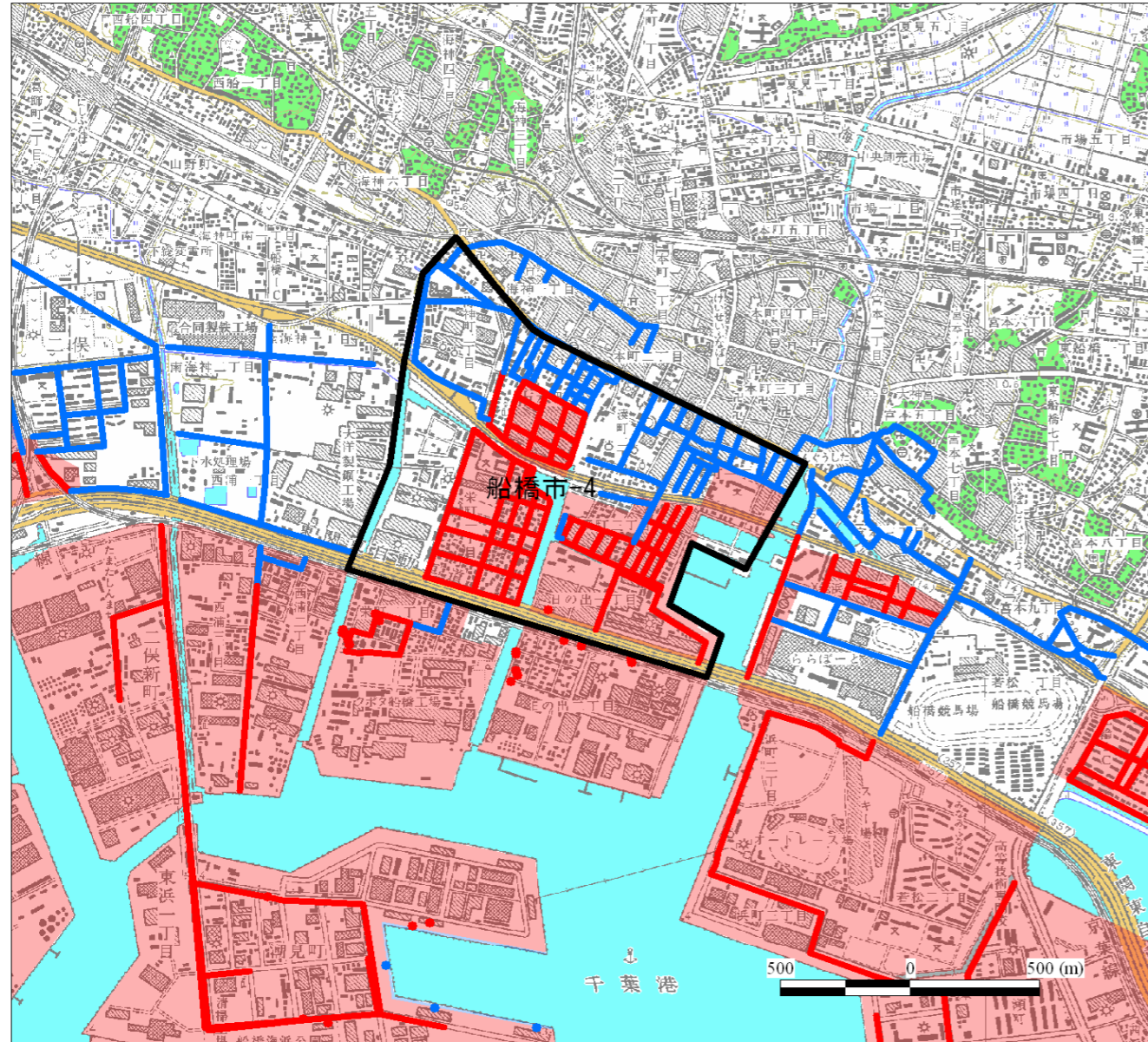
地盤条件の記載なし

箇所名	船橋市-3	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	西浦1丁目, 南海神	6/6
発生面積	なし	地形分類	低い埋土地(干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	液状化の発生は確認されず							
噴砂の状況	なし	地盤の変形量(沈下、傾斜)	なし	被害の程度	なし			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

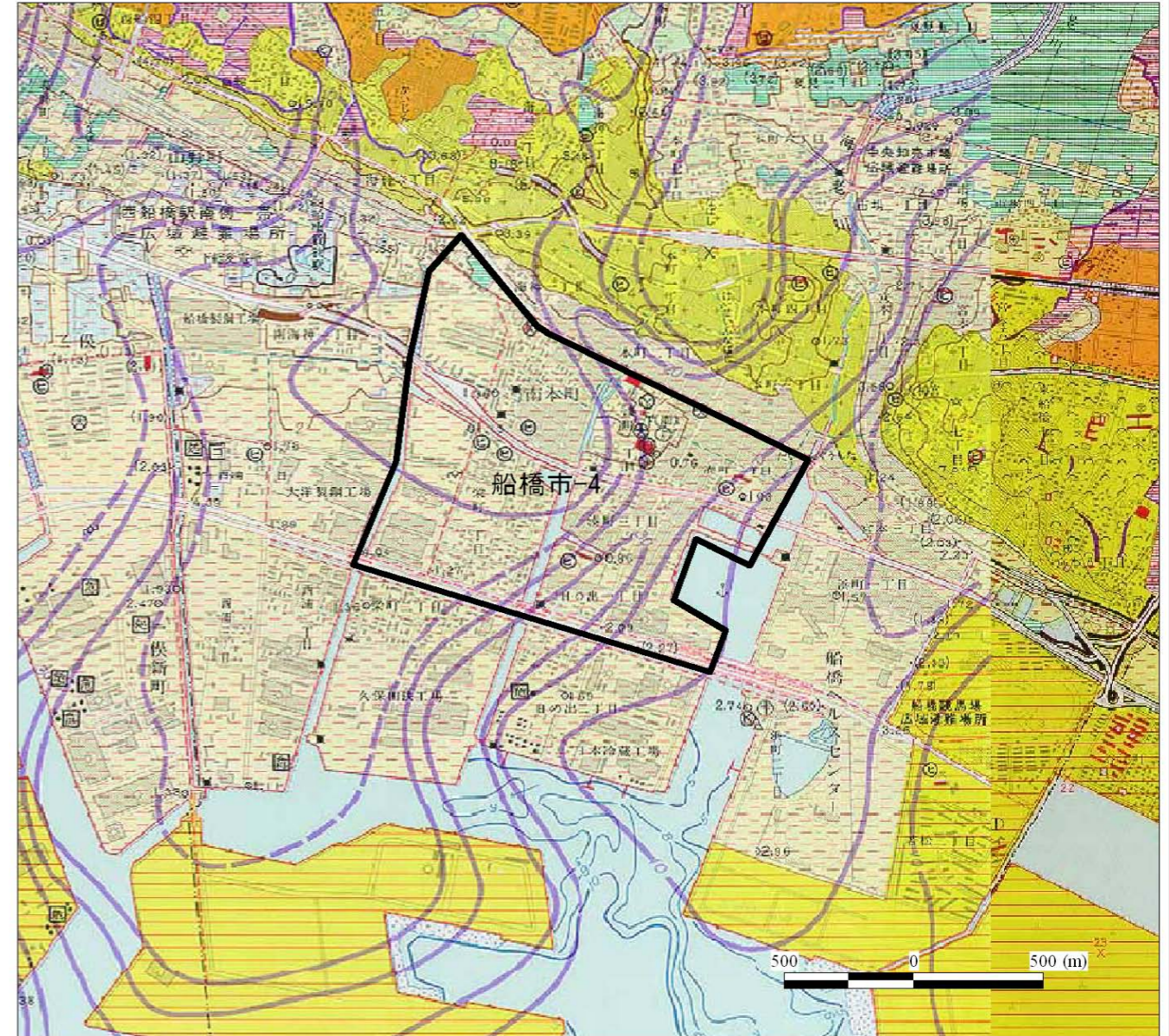
写真なし

箇所名	船橋市-4	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	栄町1丁目, 日の出1丁目, 南本町, 湊町, 海神町2, 3丁目	1/6
発生面積	大	地形分類	低い埋土地(旧海浜部、干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	埋立前は干潟、海面だった栄町13丁目、日の出1~3丁目、南本町の南部、湊町3丁目で液状化が発生。以前から陸地だった箇所の被害はほとんどなし。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大				被害の程度	大
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会、千葉県環境研究センター							

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

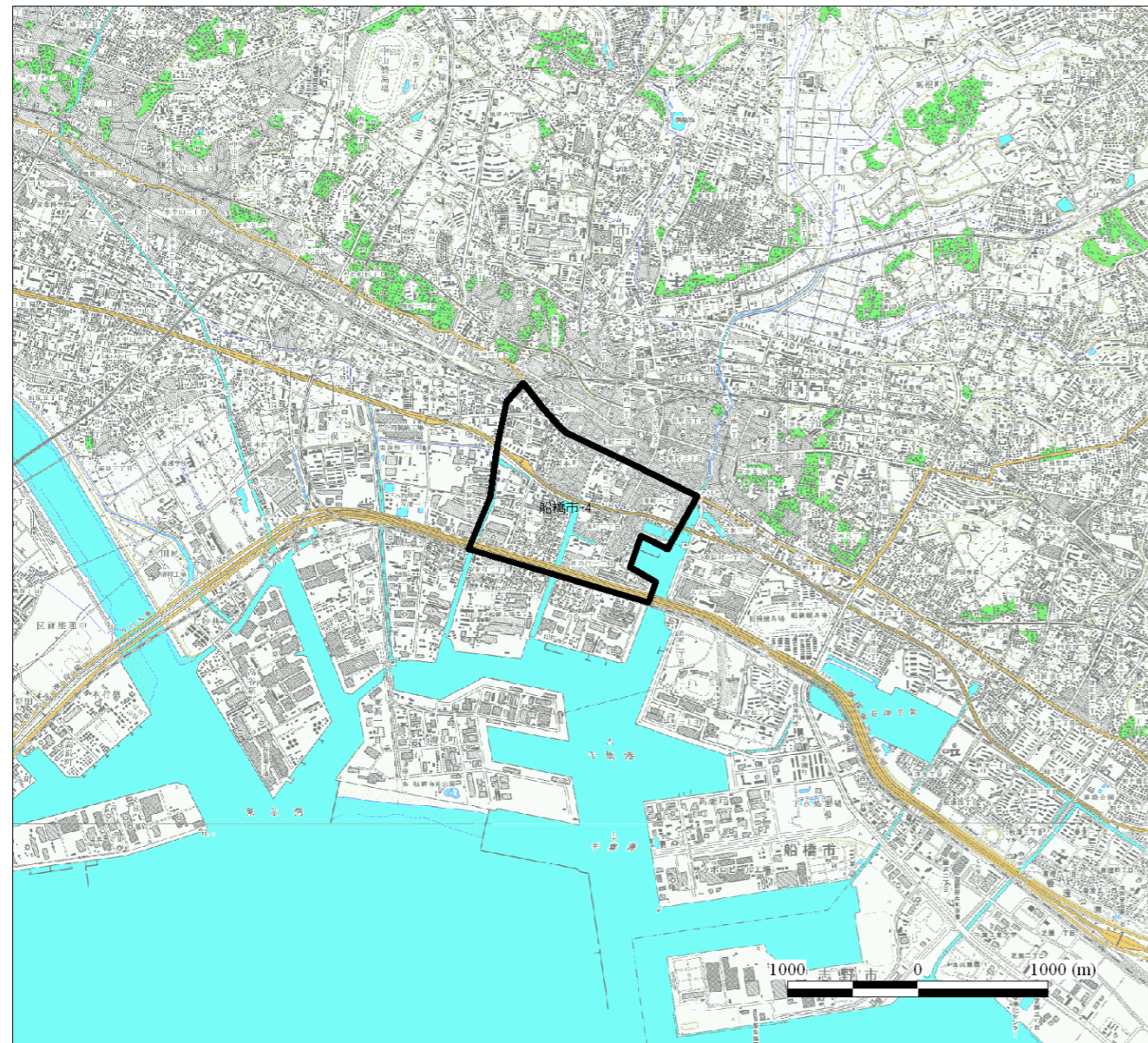


土地条件図 (Land condition map)



箇所名	船橋市-4	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	栄町1丁目, 日の出1丁目, 南本町, 湊町, 海神町2, 3丁目	2/6
発生面積	大	地形分類	低い埋土地(旧海浜部、干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	埋立前は干潟、海面だった栄町13丁目、日の出1~3丁目、南本町の南部、湊町3丁目で液状化が発生。以前から陸地だった箇所の被害はほとんどなし。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会, 千葉県環境研究センター							

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

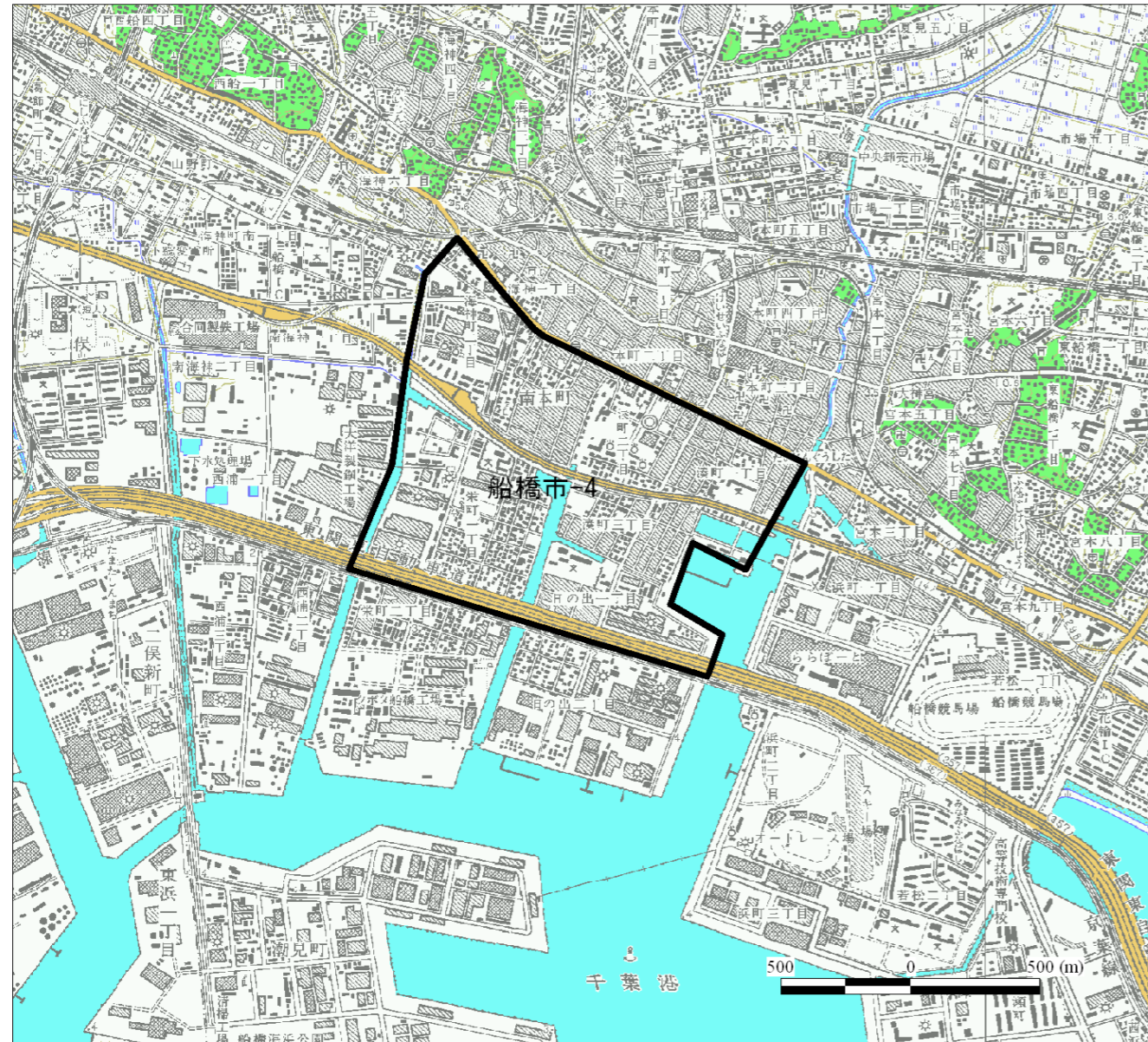


航空写真(2011年3月17日撮影)

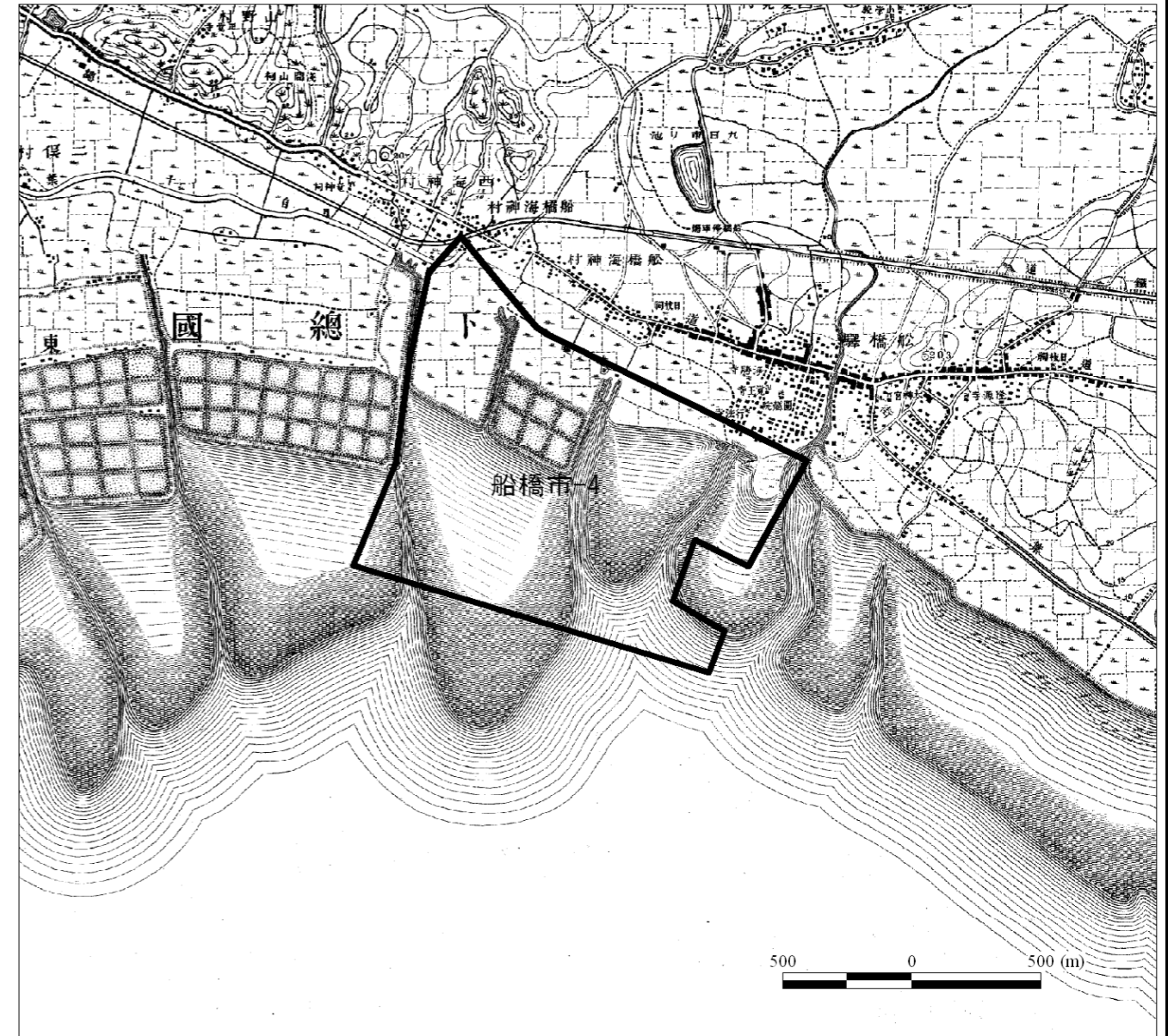


箇所名	船橋市-4	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	栄町1丁目, 日の出1丁目, 南本町, 湊町, 海神町2, 3丁目	3/6
発生面積	大	地形分類	低い埋土地(旧海浜部、干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。							
被害概要	埋立前は干潟、海面だった栄町13丁目、日の出1~3丁目、南本町の南部、湊町3丁目で液状化が発生。以前から陸地だった箇所の被害はほとんどなし。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会, 千葉県環境研究センター							

地形図(数値地図25000)

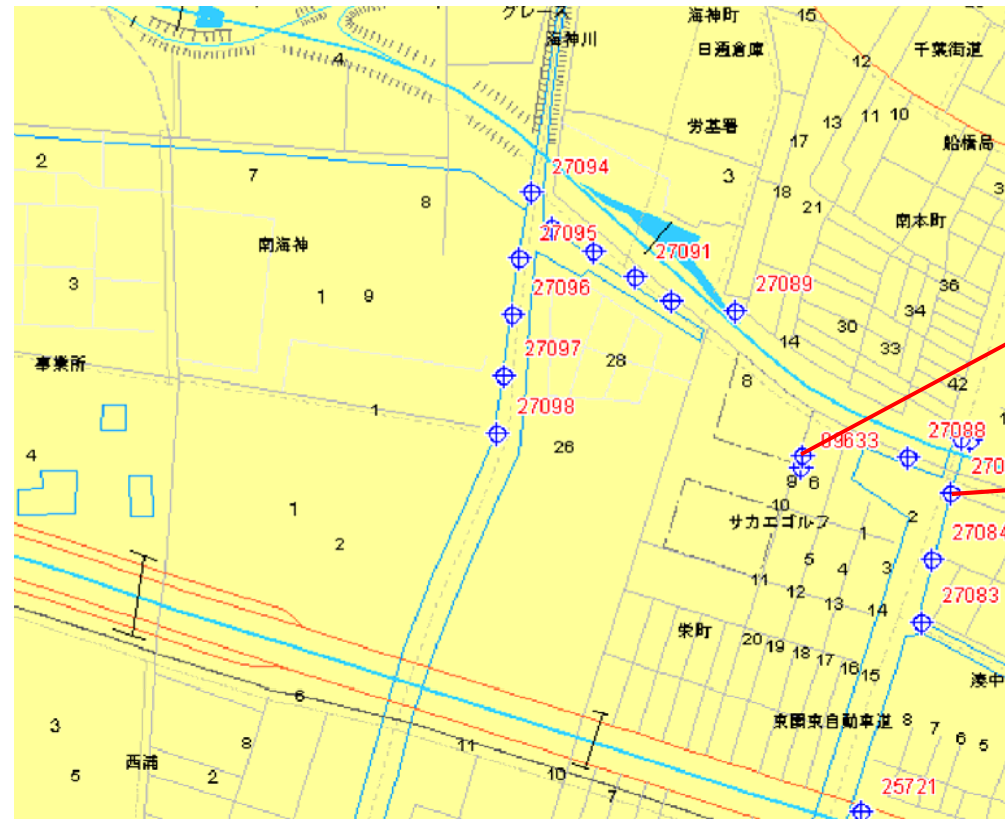


1/20000迅速図:明治13年測量



箇所名	船橋市-4		都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	栄町1丁目, 日の出1丁目, 南本町, 湊町, 海神町2, 3丁目		4/6
地下水位	GL-1.25~1.7m	液状化対象層(層厚、深度)	B1 Bs,As GL-0~9.6m(9.6m)		B2 Bs,As,Asc GL-0~9.5m(9.5m)					
湿潤密度 ρ_t			平均粒径D50			細粒分含有率FC			塑性指数Ip	
平均N値	B1 1~33	B2 1~27	液状化強度RL20			S波速度Vs			相対密度Dr	
液状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL				

平面位置図



B1

調査地 船橋市栄町1丁目
掘削深度 15.45m 孔口標高 TP 1.20m 掘削時水位 GL -1.80m
メッシュコード 53394728 調査年月 1967年7月

標尺	深度	地質柱状	層相	色調	観察記事	標準貫入試験					標尺	
						回/cm	N値					
1	1.50	黄砂	中	黄	ガラ混入。	3/33	10	20	30	40	50	1
2	2.20	黄砂	中	黄	雲母若干混入。	3/31	10	20	30	40	50	2
3	4.70	シルト質細砂	細	黄	シルト層段層に入っている。雲母若干混入。	3/30	10	20	30	40	50	3
5	8.60	シルト質細砂	細	黄	砂層段層に入っている。雲母若干混入。	2/31	10	20	30	40	50	5
6	10.45	黄砂	中	黄	雲母若干混入。	2/32	10	20	30	40	50	6
7	14.80	黄砂	中	黄	雲母若干混入。	1/33	10	20	30	40	50	7
8	15.45	黄砂	中	黄	雲母若干混入。	3/31	10	20	30	40	50	8
9						25/30	10	20	30	40	50	9
10						31/30	10	20	30	40	50	10
11						34/30	10	20	30	40	50	11
12						45/30	10	20	30	40	50	12
13						51/30	10	20	30	40	50	13
14						45/30	10	20	30	40	50	14
15						48/30	10	20	30	40	50	15
						51/30	10	20	30	40	50	15

千葉県地質環境インフォメーションバンク

B2

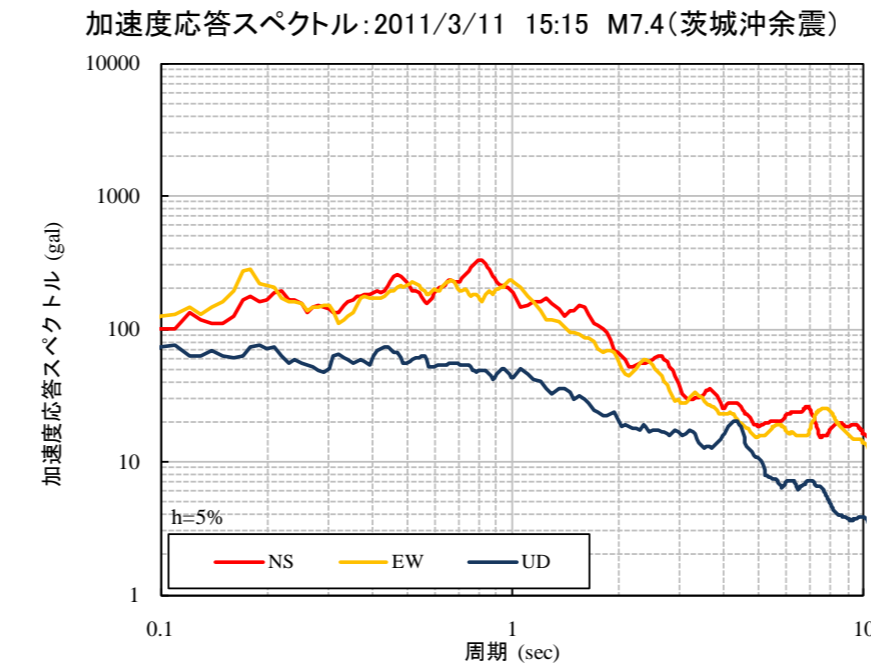
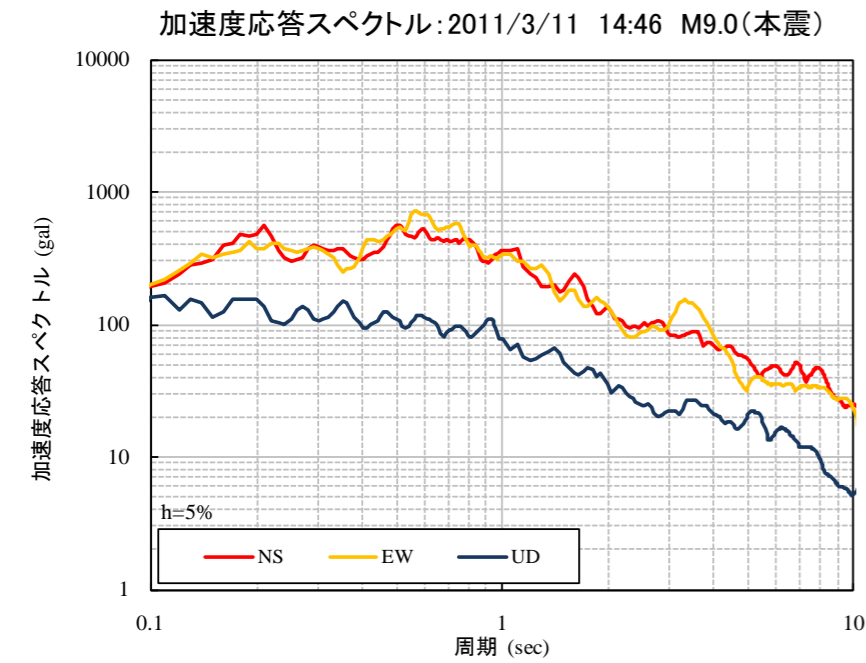
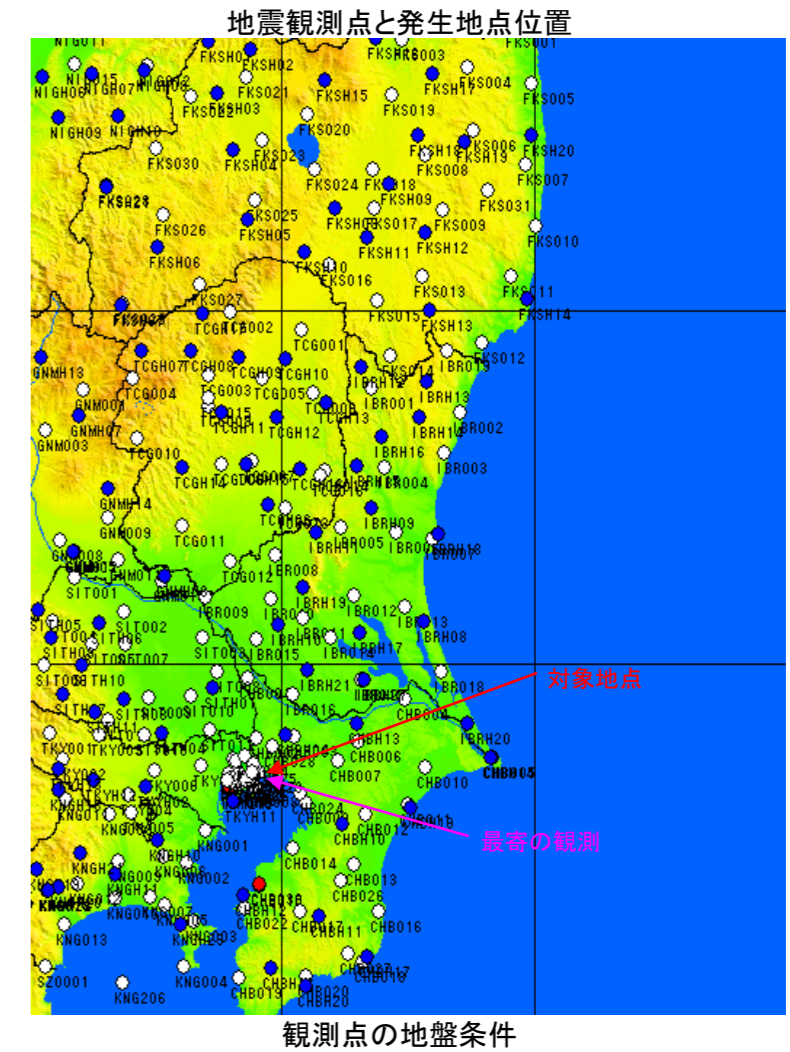
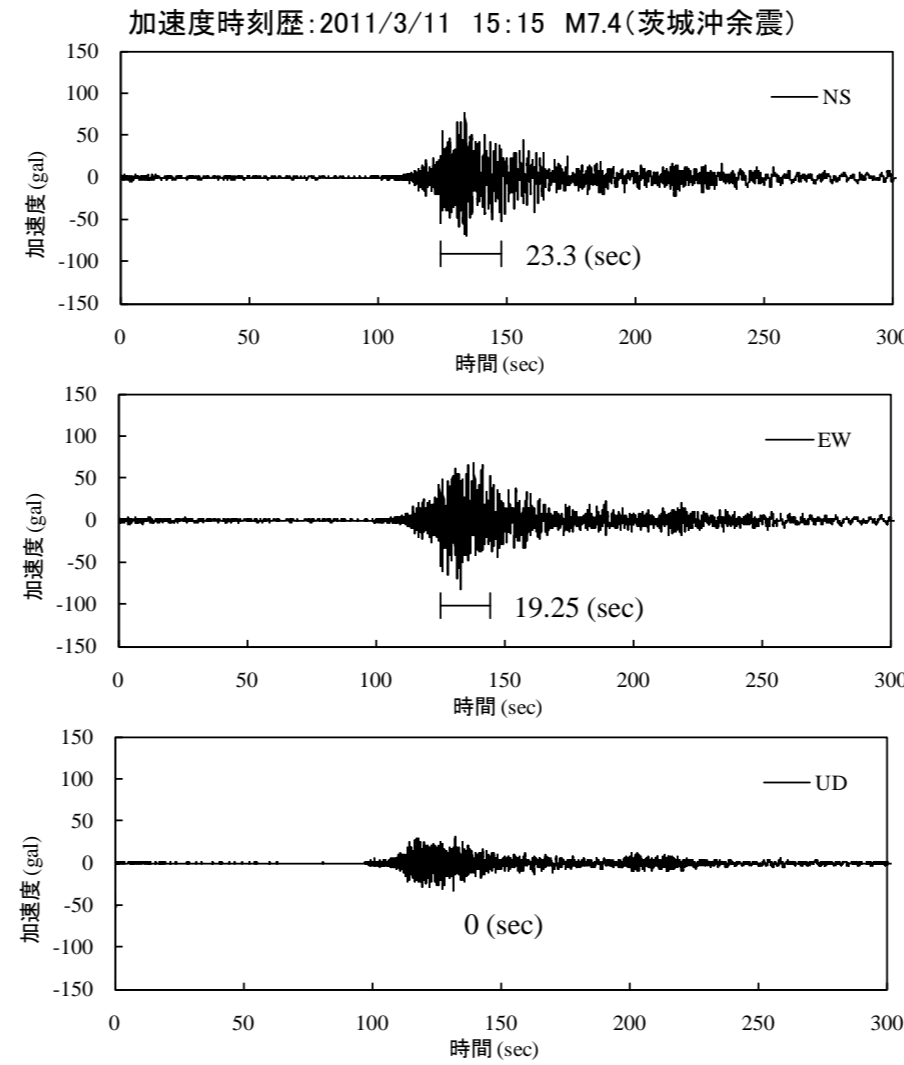
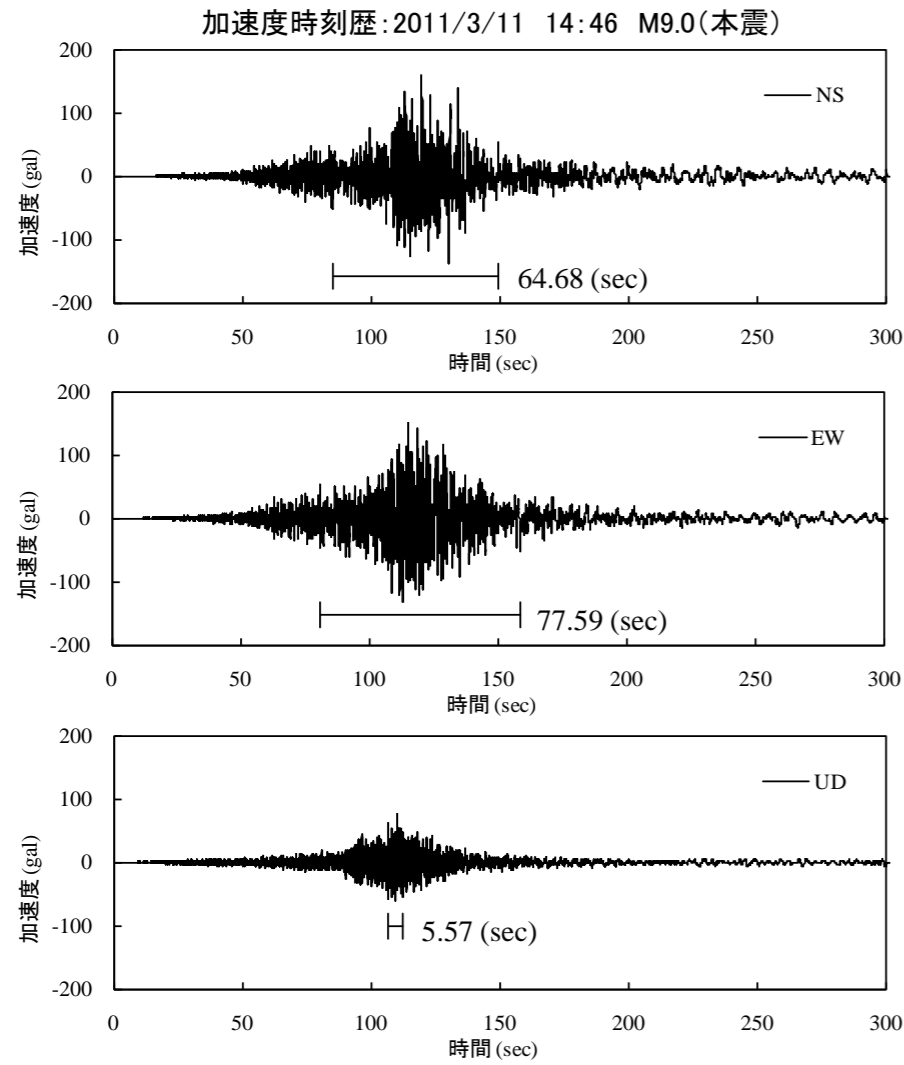
調査地 船橋市湊町3丁目
掘削深度 15.45m 孔口標高 TP -0.89m 掘削時水位 GL m
メッシュコード 53394728 調査年月 1969年5月

標尺	深度	地質柱状	層相	色調	観察記事	標準貫入試験					標尺	
						回/cm	N値					
1	0.65	黄砂	中	黄	細砂、ガラ、礫混入。 シルトの薄層を挟む。所々貝殻小片を混入。	6/30	10	20	30	40	50	1
2	2.90	シルト質細砂	細	黄	部分的に細砂の薄層を挟む。貝殻小片を混入。	4/35	10	20	30	40	50	2
3						3/30	10	20	30	40	50	3
4						3/30	10	20	30	40	50	4
5						4/36	10	20	30	40	50	5
6						12/30	10	20	30	40	50	6
7						19/30	10	20	30	40	50	7
8						21/30	10	20	30	40	50	8
9						27/30	10	20	30	40	50	9
10						29/30	10	20	30	40	50	10
11						31/30	10	20	30	40	50	11
12						32/30	10	20	30	40	50	12
13						38/30	10	20	30	40	50	13
14	14.25	黄砂	中	黄	部分的に貝殻片を多量混入。	48/30	10	20	30	40	50	14
15	15.05	貝殻片混り細砂	細	黄	部分的に貝殻片を多量混入。	48/30	10	20	30	40	50	15
15	15.45	粘土質細砂	細	黄	粘土の薄層を挟む。貝殻片を混入。	31/30	10	20	30	40	50	15

千葉県地質環境インフォメーションバンク

出典: 千葉県地質環境インフォメーションバンク

箇所名	船橋市-4	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	栄町1丁目, 日の出1丁目, 南本町, 湊町, 海神町2, 3丁目			5/6	
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET行徳(CHB029)	対象地点との距離(km)	5.7	最大加速度(gal)	166.8	最大速度(kine)	28.4	継続時間(50gal以上)(s)	77.59
	87.7						14.5		23.30		
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5弱	出典	防災科学技術研究所HP				



地盤条件の記載なし

箇所名	船橋市-4	都道府県	千葉県	市区町村	船橋市	地区	栄町1丁目, 日の出1丁目, 南本町, 湊町, 海神町2, 3丁目	6/6	
発生面積	大	地形分類	低い埋土地(旧海浜部、干潟・遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし				
土地改変履歴	1946年から1960年代にかけて埋土。								
被害概要	埋立前は干潟、海面だった栄町13丁目、日の出1~3丁目、南本町の南部、湊町3丁目で液状化が発生。以前から陸地だった箇所の被害はほとんどなし。								
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大					被害の程度	大
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会, 千葉県環境研究センター								

安田進(東京電機大学)

千葉県環境研究センター

(東北地方太平洋沖地震による東京湾岸埋立地での液状化ー流動化被害)



日の出2丁目：西側護岸の一部が崩れた。

